

第1学年 日本語学級 「友達に知らせよう」 (オンライン授業)

トピックのねらい	○フィリピンや日本の食べ物のことを、色や味などを表す言葉を使って伝えることができる。
日本語の目標	○色や形、味などを伝える言葉が分かる。 ○「○○は、～～いろです。」の言い方で、ちらしずしのことを知らせることができる。
関連	教科・単元 国語科「知らせたいなみせたいな」A 生活科「フィリピンをしようかいしよう」B
	くらし・行事 夏休みの絵日記 C
主な学習活動	① フィリピンの「ハロハロ」を、色や入っている物で紹介する。 ② 日本の「ちらしずし」を色や入っているもので紹介する。

教材・教具：「ハロハロ」「ちらし寿司」写真、ロイロノート

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 フィリピンのおやつ「ハロハロ」について知っていることを出し合う。	*「ハロハロ」写真を見て、食べた経験や何が入っているか、好きか嫌いかなどを交流する。	BC
	フィリピンの「ハロハロ」のことを知らない友だちにつたえよう。		
	2 ハロハロの中に入っている物を色から考える。	* 黄色→プリン、バナナ、パオナップル むらさき→ウベアイス みどり→ゼリー、白→豆 など	B
	3 ハロハロのことを友達に知らせる文章を書く。	○いろ、かたち、なにでできているか、あじなどの中から自分の伝えたいことを選んで文章にする。 「ハロハロはフィリピンのおやつです」 「ハロハロの中には、(色)の(何～～)があります。」のモデル文を使って紹介する文章を書く。 ◇発表の練習をする。	A
	4 書いた文章を発表しあう。	◇書いた文章を発表し合う。	A
5 学習をふりかえる。	◇友達に伝わる文章を書けたか、挙手で問う。		
2	1 色のカードを見て、色の名まえを言う。	○ちらしずしの中に出てくる色の名前や、普段言い慣れない日本語の色の名前を知る。 (しろ・赤・オレンジ・みどり・きみどり・ちやいろこげちやいろ・はだいろ→うすだいたい)	A
	日本の「ちらしずし」のことを知らない友だちにつたえよう。		
	2 ちらしずしの中に入っている物を色から考える。	○白とオレンジ→えび、きみどりいろ→えんどうまめ きいろ→たまごやき、あか・オレンジ→いくら 白→ごはん、ちやいろ→しいたけ	AC
	3 ちらしずしのことを伝える文章を書く。	◇「○○は、～～色です。」 「～～色は、○○です。」のモデル文を使って紹介する文章をノートに書く。	A
4 学習を振り返る。	◇友達に伝わる文章が書けたか、挙手で問う。		

これ なーんだ？



フィリピンの
ハロハロを
知らないひとに
おしえてあげよう！



これは
なんでしよう。

どんな いろが ありますか。

- えび.....しろ、あか
- たまごやき.....きいろ、あまい
- えんどうまめ.....みどり
- いくら.....あか、とうめい
- ごはん.....しろ
- しいたけ.....ちゃいろ

こげちゃいろ

モデル文
『○○は、○○(いろ)です。』

- えびは あかとしろ です。
- たまごやきは
- いくら
- しいたけは

フィリピンと日本のカラフルな食べ物を紹介する文を考えました。
普段使わない色の名前も、確かめました。

令和3年度 第1学年 日本語学級「ともだちにしらせよう」ふりかえり

児童の様子	<p>《日本語学級での様子》</p> <p>○フィリピンと日本のカラフルな食べ物を写真で提示したことで、色を表す言葉を使って紹介する文章を書く活動を楽しんで行うことができた。</p> <p>○特にちらし寿司は知らない児童が多かったが、日本の文化を知ることができた。</p> <p>▲バイカルチャーの視点から、フィリピンと日本の代表的な食べ物を題材にしたが、予想以上に知らない児童が多かった。</p> <p>《在籍学級での様子》</p> <p>○友達に知らせる文章を、積極的に書こうとする姿が見られた。</p> <p>○モデル文をヒントに自分で文章を考えようとする児童が増えた。</p> <p>○在籍学級の授業でも積極的に文章を書こうとする児童がいた。</p>	
	学習活動案・日本語支援について	1時間目
2時間目		<p>成果</p> <p>○モデル文を提示し、その文型を使って紹介文を書いたことで、書いた文章を自信をもって発表することができた。</p> <p>○「ハロハロ」と「ちらし寿司」というフィリピンと日本のカラフルな食べ物を題材にしたことで、楽しんで学習する児童が多かった。ちらし寿司のことはよく知らなかったという児童が、「カラフルちらし寿司」と自分で題名をつけ意欲的に紹介文を書いていた。</p> <p>課題</p> <p>▲モデル文を使った文章だけでなく、一人ひとりの児童の言葉で発展的な文章も書かせることは難しい。 →いくつかの例文を示し、その中から選ばせて書かせたり、一部分だけを空けてそこだけ考えさせるようにしたりしてみる。 例；「ハロハロはフィリピンの ~~~ です。」 「日本ではちらし寿司を~~~時に食べます。」</p>